



**THE SOUND MAKER（サウンド・メーカー）を称え、  
ジャガー・ルクルトがマスター・コントロール コレクションから  
2つの新作メモボックスを発表**

時計製造の伝統に深く敬意を払い、革新を追求する情熱に突き動かされるジャガー・ルクルトは今年、長い歴史の一端を担ってきたチャイムを備えた複雑機構であるミニッツリピーターおよびアラーム機構を備えたメモボックスを再解釈します。

あらゆる複雑機構の中でも、最も便利で魅力的な機構の一つであるにもかかわらず、まだアラーム機能は時計製造の世界において驚くほど珍しい機構です。ジャガー・ルクルトが最初のメモボックスを発表してから 70 年、メモボックスは腕時計のアラームの見本となり、都会的なライフスタイルや水中でのスポーツのためにデザインされたモデルも登場しています。

メモボックスのストーリーは 1940 年代後半に遡ります。戦後、経済が回復して世界中に活気が溢れ、発明が次々と生まれました。テクノロジーによって新しい産業が生まれ、都市が発展し、忙しく駆け回るビジネスマンは楽観的であり、自信に満ちていました。

この背景に対して、ジャガー・ルクルトはチャイム機構の卓越した職人技を駆使してアラームウォッチを開発しました。実用的なタイムピースは、その時代に完璧にマッチしたことでしょう。アラーム機構はミニッツリピーターからインスピレーションを得ましたが、ハンマーが非常に速い速度で何回もゴングを打たなければならないという特定の課題がありました。

**シースルー・サファイア・ケースバックの新世代ウォッチ**

今年、マスター・コントロール・メモボックスの新たな世代を発表するにあたり、ジャガー・ルクルトは 1950 年代の初期のメモボックスからインスピレーションを得て、オリジナルモデルの実用性や魅力の真髄を継承しつつ、新たに現代的なスタイルを取り入れました。便利な機能を付加するという伝統を受け継ぐ新しいマスター・コントロール・メモボックス・タイマーには、まったく新しいアラーム設定機構を組み込みました。また、マスター・コントロール・メモボックスには、クラシックなアラームと日付表示のモデルにすっきりとしたラインの現代的なスタイルを取り入れました。



この新たな世代のアラームウォッチのために、ジャガー・ルクルトのエンジニア達は、自動巻キャリバー956 をわかりやすく一新しました。これまでのメモボックスは透けていないケースバックで、そこにゴングが取り付けられていましたが、新しいマスター・コントロールのケースはサファイアクリスタルのシースルーケースバックによって、ハンマーの動きを楽しむことができます。このために、ケースの側面にゴングを取り付けるよう打鐘機構のデザインを完全に見直すことが求められました。新しいオープンワークのピンクゴールド製ローターには、コート・ド・ジュネーブ装飾が施され、ムーブメントのプレートに施された繊細な仕上げと調和しています。また、ハンマーの動きを眺める際に妨げることもありません。ただし、全く変わらない重要なエレメントが一つあります。それはメモボックスの魅力である、特徴的な“スクールベル”アラーム音です。

### マスター・コントロール・メモボックス

オリジナルの 1950 年のメモボックスの優美で端正なダイヤルをすっきりとした現代的なスタイルに再解釈した新しいマスター・コントロール・メモボックスは、アラームと日付表示のクラシカルなコンビネーションにサンレイ仕上げのシルバーダイヤルを組み合わせました。植字インデックスはより一層洗練され、1950 年代半ばのメモボックスの特徴である細長い三角形のインデックスがドーフィン針に呼応します。ブルーの秒針はさりげなくポップな彩りを添え、シルバーホワイトのダイヤルに活気を与えます。

### マスター・コントロール・メモボックス・タイマー

何十年にも渡ってアラームウォッチの実用的価値を際立たせてきたジャガー・ルクルトは、ワールドタイム表示やパーキングメーターリマインダーなど様々な便利機能をメモボックスに搭載してきました。同じ熱意で、ジャガー・ルクルトのエンジニア達は今回、新しい便利機能であるタイマーを開発しました。

これにより、経過する時間の長さを基準にしてアラームが鳴るように設定することができます（例えば、会議時間や夜の起床時間など）。あるいは、特定の時刻に鳴る従来のアラームを設定することもできます（約束の時間や飛行機に間に合うように目覚ましをかけるとき等）。どちらのアラーム設定方法も選択できるように表示はリンクしており、もう一つの表示は相当する位置に自動的に移動します。

ダイヤルは、サンレイ仕上げを施した二色のブルーの同心リングで構成されており、内側のリングにはポリッシュ仕上げの数字が浅く浮き彫りされています。内側のリング上では、先端に赤い JL ロゴ



が付いた小さな針が、アラームが鳴るまでの経過時間を表示します。外側のリングにはメモボックスの特徴である三角形のマーカーが配され、アラームが鳴る時刻を示します。

マスター・コントロール・メモボックス・タイマーは 250 本の限定生産となります。

どちらのメモボックスも新しい 40mm のマスター・コントロールのケースです。傾斜したベゼル、ダイナミックにカーブしたラグ、ポリッシュ仕上げとサテン仕上げを組み合わせた表面のデザインは、リラックスした現代的なエレガンスを醸し出します。

## 技術仕様

### マスター・コントロール・メモボックス

サイズ：40 mm x 12.39mm

ムーブメント：ジャガー・ルクルト製キャリバー956（機械式自動巻）

機能：時、分、秒表示、日付、アラーム（メモボックス機能）

パワーリザーブ：45 時間

ケース：サテン仕上げとポリッシュ仕上げが施されたステンレススチール

ダイヤル：サンレイ仕上げのシルバーダイヤル

ケースバック：オープン

防水性：5 気圧

リファレンス：Q4118420

### マスター・コントロール・メモボックス・タイマー

サイズ：40 mm x 12.39mm

ムーブメント：ジャガー・ルクルト製キャリバー956（機械式自動巻）

機能：時、分、秒表示、日付、アラーム（メモボックス機能）、タイマー表示（JL ロゴの付いた針）

パワーリザーブ：45 時間

ケース：サテン仕上げとポリッシュ仕上げが施されたステンレススチール

ダイヤル：ツートンカラーのブルーのサンレイ仕上げダイヤル、メモボックスディスク上に数字をエングレービング

ケースバック：オープン

防水性：5 気圧

リファレンス：Q410848J、250 本限定



---

### **Jaeger-LeCoultre: HOME OF FINE WATCHMAKING SINCE 1833**

ジャガー・ルクルトは、メゾンの本拠地をジュウ渓谷の静寂な地に置いていることが、ホームとして、その場所への独特の帰属意識を高めています。まさにこの地こそ、ジュラ山脈の比類なき景色に着想を得ながら、果てることのない「内なる炎」に導かれ、グランド・メゾンの精神が生まれる場所なのです。すべての作業がひとつ屋根の下で行われているこのマニュファクチュールでは、時計職人、エンジニア、デザイナー、芸術職人が一丸となって働き、時計に息吹を吹き込みます。揺るぎないエネルギーと、メゾンに属する一人ひとりのコミットメントを日々促している創造の精神が原動力となり、控えめな洗練さと技術的な創造性を培っています。この精神が、1833年以來、1,200以上のキャリバーを生み出すパワーの源であり続け、そして、ジャガー・ルクルトをウォッチメーカーの中のウォッチメーカーへと導いているのです。

---

[www.jaeger-lecoultre.com](http://www.jaeger-lecoultre.com)